

社会科公民学習の理解を深めるための新聞活用

指定校 1 年次 箕輪町立箕輪中学校 池上 篤

I 本校の新聞活用（N I E）の現状

昨年度までは、学活で興味を持った新聞記事を紹介したり、社会科で新聞記事を扱って授業をしたりすることはあったが、積極的に新聞を活用することはなかった。また、行事や職場体験を新聞にまとめて展示をすることはあったが、新聞記事紹介コーナーなどを設けて生徒が新聞や社会情勢に興味を持つ環境作りには力を入れてこなかった。本校の現状を踏まえ、この1年、新聞活用に取り組んできた。

II 実践のねらい

学校教育活動の中で新聞を活用することで、①社会的事象への理解を深める。②読解力の向上を図る。③思考力・判断力・表現力の一層の育成を図る。

III 研究の概要（授業実践）

1 題材名 「現代の民主政治と社会」

2 題材の目標 国民の積極的な政治参加が議会制民主主義を支えていることに気付かせ、政治に関心を持ち、積極的にかかわっていかうとする態度を育てる。

3 題材の評価基準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
ア. 身近な生活と政治との関わりに関心を持ち、身の回りの社会的事象から、政党の役割や選挙の仕組みなどについて意欲的に追究している。 イ. 積極的に話し合いに参加し、考えようとしている。 ウ. <u>社会科の学習と新聞記事との関連について意欲的に追究しようとしている。</u>	ア. 議会制民主主義について、対立と合意、効率と公正などの見方や考え方を活用して考察し、表現している。 イ. 国民の政治参加が民主政治を支えていることに気付き、望ましい政治参加のあり方について考え、自分の考えを表現している。 ウ. <u>新聞記事について自分なりの考えや意見を持ち、発表することができる。</u>	ア. 選挙の課題などについて、複数の資料を比較したり、課題に即して読み取ったり、まとめたりしている。 イ. グループのメンバーと協力し合いながら情報機器を使って質問や意見をやりとりすることができる。 ウ. <u>マスメディアの世論形式に対する影響力とメディアリテラシーの重要性を理解し、情報を様々な角度から読み取っていく。</u>	ア. 政治や議会制民主主義の意義や基本的な考え方について理解している。 イ. 多数決の原理と運用のあり方、選挙制度、政党や世論の役割などについて理解し、その知識を身につけている。 ウ. <u>新聞記事を通して、既習知識の確認をしたり、これから学習していく内容について見通しを持つたりすることができる。</u>

4 単元展開の概要 「国の政治のしくみ」

① 1～6時 教科書の単元に沿い、国の政治の仕組みについて学習する。

- 第1時 ・民主主義とは ・多数決の原理
- 第2時 ・政党政治とは ・日本の政党の動き
- 第3時 ・選挙の基本原則について ・選挙制度と選挙の課題
- 第4時 ・国民の政治参加について ・世論とマスメディアについて
- 第5時 ・国会の地位 ・国会の決議と議決
- 第6時 ・国会の動き ・衆議院の優越 ・興味のある新聞記事を選ぶ。

② 第7～9時 自分が興味を持った新聞記事から公民の学習内容について考える。

- 第7時 ・選んだ記事が似ている生徒4～5人でグループを作り、グループ内で発表し合い、クラス全体で発表する記事の一つを選ぶ。
・グループで選んだ記事について、社会科の公民で学習した内容との関連を調べ、発表の準備を行う。
- 第8時 ・iPadを使い、学級内で発表し、質問や意見を出し合い、感想を記入する。

(本時)

- 第9時 ・発表を終えて、各班から寄せられた感想や質問を元に、さらに調査を行う。

5 本時

(1) 主眼

基本的人権の尊重や、民主政治のあり方、国会の仕組みについて学習してきた生徒たちが、新聞記事から既習内容を振り返り、これから学習する見通しについて発表し、質問や意見を交換し合う活動を通して、新聞記事を通して社会の様子が分かるだけでなく、学習してきた内容が深まっていくことに気づき、さらに深く追求していこうとする見通しを持つことができる。

(2) 本時の位置

前時：新聞記事と公民で学習した内容で関係しているものについて調査を行う。

- ① スポーツ関係は、箱根駅伝の記事を選び、スポーツの持つ意義と効果について調べた。
- ② 科学関係は、宇宙開発の記事を選び、宇宙開発と経済発展の関係と事業仕分けについて調べた。
- ③ 地方自治関係は、紙で作られた遊具の記事を選び、安全とは何かを考える中で、箕輪町が行っているセーフコミュニティについて興味を持ち、調べた。
- ④ 政治関係は、学校の統廃合の記事を選び、学校統廃合に対する文部科学省の見解や、学校と地域活性化との関係について調べた。
- ⑤ 食の安全は、食品偽装の記事を選び、食品表示法についてまとめた。その中で、国会で法律が制定されるまでの流れについて興味を持った。
- ⑥ 事件関係は、カナダの国会で起きた銃撃事件の記事を選び、世界的に問題になっているテロ事件と、その原因になっている貧困の問題について調べた。



⑦ 人権関係は、忘れられる権利の記事を選び、公民の人権の単元で学習した知る権利やプライバシーの権利と関連させながら自分たちの考えをまとめた。

次時：発表を終えて、各班から寄せられた感想や質問を元に、さらに調査を行う。

(3) 指導上の留意点

- ① 似た内容の記事に興味を持った生徒同士でグループを編制し、グループ内での話し合いが活発にできるようにする。
- ② iPadを使って発表したり、質問や意見交換をしたりすることにより、多くの生徒の考えを視覚的にとらえられるようにする。
- ③ 普段から新聞記事に興味を持てるように、6種類の新聞を教室に置いておく。

(4) 展開

学習活動	予想される生徒の反応	○指導 ◎評価
1. 自分たちが興味を持った新聞記事について発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊施設の偽装 ・はやぶさ2の計画 ・忘れられる権利 ・財務省試算「教員1万人減らされる」 ・全日本大学駅伝 ・カナダ国会テロ事件 ・遊具の安全 	○「ロイロノート」を使って発表させる。 ○一つ発表が終わるごとに、各班で話し合い、質問や意見を考える。
学習問題： 新聞記事と社会科で学習した内容で関係しているものは何だろう？		
2. 質問・意見交換 	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者の権利 ・技術革新と社会権 ・自由権とプライバシーの権利 ・財政問題と教育を受ける権利 ・新しい人権 ・地域紛争 ・箕輪町のセーフコミュニティ 	◎既習内容とこれから学習していく内容について、わかりやすく発表することができたか。
友達の質問や意見を聞いて、さらに調べたいと思ったことはどんなことだろう？		
	<ul style="list-style-type: none"> ・こういう見方もあるのか。 ・こんな質問がきたけど、わからない。 ・なるほどな。さらに調べてみよう。 	○「ロイロノート」のトンネル機能を使って質問や意見を送信する。
3. これからさらに調べたいことを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・被害の救済について調べたい。 ・宇宙基本法について調べたい。 ・「忘れられる権利」の今後を調べたい。 ・財政問題について調べたい。 ・新しい権利について調べたい。 ・宗教問題について調べたい。 ・地方自治について調べたい。 	○「ロイロノート」を使って発表させる。 ◎さらに追究していくテーマについて見通しを持つことができたか。
4. 感想記入		○学習カードに記入させる。

(5) 次時の授業（第9時）

発表を終えて、各班から寄せられた感想や質問を元に、さらに調査を行った。

- ① スポーツ関係は、スポーツができるということは、平和で、人権が保障されているからだと考え、公民の人権保障との関連をまとめた。
- ② 科学関係は、宇宙開発のなかからうまれて自分たちの生活にフィードバックされているものに興味を持ち、エアバッグやワイヤレス技術などを調べ、公民の現代社会について関連をまとめた。
- ③ 地方自治関係は、箕輪町のセーフコミュニティについて調べていく中で、地方自治の仕組みについて興味を持ち、地域づくりと地方自治についてまとめた。
- ④ 政治関係は、行政改革と過疎化の問題について興味を持ち、限られた財政の中では効率の良い行政を行わなければならない、そのなかでよりよい教育環境も整えていかなければならないという難しさについてまとめた。
- ⑤ 食の安全については、食品の情報表示についても法律で決められているということに興味を持ち、食品表示法がどのような審議を経て制定されたのかについて調べ、まとめた。
- ⑥ 事件関係は、テロをなくしていくためには世界の貧困を解決していかなければならないと考え、日本の国際協力やNGOの活動についてまとめた。
- ⑦ 人権関係は、情報化社会と人権を巡る様々な問題について興味を持ち調査した。



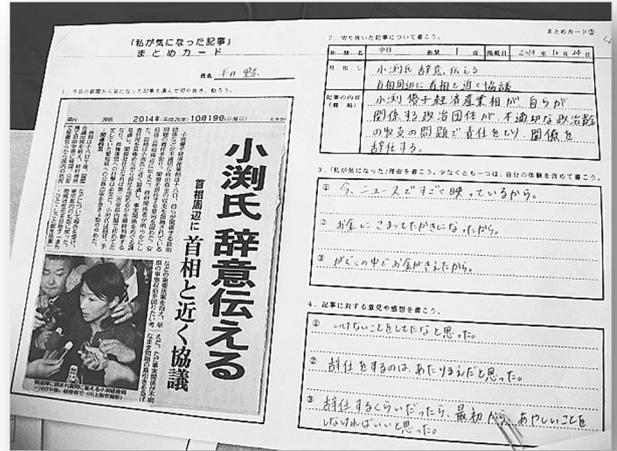
IV 研究のまとめ

1 単元を終えて生徒の感想

- ① 新聞記事について調べていくと、社会の授業で学習したことと関係の深いことが多くて驚いた。
- ② 社会で勉強していることが、自分たちの生活とつながっているなんて今まで考えたことがなかったけど、今回新聞から調べたりして、社会でやったことが新聞に書かれたりしていて、社会科って大事なんだなと思った。
- ③ 今まで新聞はあまり読んだことがなかったけど、新聞を読むといろいろなことを知ることができるんだなと思った。学習したことがわかってないと新聞に書かれていることもあまりよくわからないし、新聞を読まないと、学習したことが実際ではどうなっているのかがわからないんだなと思った。
- ④ 一つの記事がこんなに深いものなのだなと思った。今度からは大きな記事だけでなく小さい記事にも目を通して行きたい。
- ⑤ 新聞は、たくさんの情報を知るため、経済のことを知るための方法だと改めて感じた。
- ⑥ 新聞記事を調べることにより、授業の内容がより深く理解できた。日本の経済なども興味を持てた。

2 考察

- ① 公民の基本知識を学習した後、今後の学習の見通しを持たせる目的で新聞を使ったことは、教書や資料集で学んだ内容を、現実社会の出来事と結びつけるのに有効であった。
- ② 自分たちが選んだ新聞記事と公民での学習内容を関連づけて調査させたことは、公民で学習した内容の理解を深めるのに有効であったし、新聞で読んだことが学習にも生きてくるということを気付かせるのに有効であった。
- ③ 生徒一人一人に記事を自由に選ばせた後、似た内容を選んだ生徒たちでグループを組んだことにより、自分では気付かなかった記事を知り、記事内容に対する新たな考え方を学ぶことができた。
- ④ 他のグループの発表で学んだことを、グループごとに iPad にまとめさせ、学級の全グループに送信することによって、多くの生徒の考えを視覚的にとらえ、知り合うことができた。
- ⑤ 教室に6紙の新聞を置いたり、学活時に当番制で生徒が新聞記事について発表する時間を設けたりして、新聞記事を読み込んでいくことにより、授業で学習した内容からさらに踏み込んだ内容を理解することができた。



3 残された課題

今回、中学3年次より新聞を読み取らせる学習始めたが、より長期的な計画を持ち、例えば1年次は見出しや写真を中心に記事をよみ、2年次は小見出しを読み取り、3年次はより深く読み込んでいくなどの取り組みをすると、より深く新聞を読み取ることができるようになり、生徒が興味を持つ記事の範囲も広がっていくのではないと思われる。

4 次年度に向けて

(1) 環境づくり

① 教職員にとって

- ・ 数社からの新聞を購読し、職員室大机におく。同じ事件・出来事に対する各社の報道の仕方の違いに目が向くようにも配慮する。
- ・ 日報の裏面に新聞記事を印刷して配付する。学校の記事だけでなく、教育問題に関する記事、政治・経済・国際問題に関する



る記事、哲学的内容の記事なども載せるようにしていく。

⑧ 生徒にとって

- ・N I Eの係や若い先生を中心に生徒昇降口及び図書館前掲示板に切り抜いた記事を掲示し、新聞への生徒の興味・関心味を高める。

(2) 斜面・天声人語の視写

毎週1回水曜日に位置づける「自学の時間」に視写を継続的に行っていく。視写することで表現力を高めるとともに、内容を理解する力や要約する力、コメントする力の伸長もねらう。



※今年度実施

- | | |
|-------|---|
| 1年……… | 準備した新聞の斜面を、20分間使い、『読み書きノート』に書き写す。早くできてしまった生徒は、初めて出会った言葉の意味や新しく知ったことをメモ欄に記入する。 |
| 2・3年… | 朝日新聞で出版されている『天声人語 学習ノート』を使い、記事の書き写しと語句調べ、感想記入をする。ゆっくりと、丁寧に書く。読めない漢字が出てきたら、辞書で調べる。文字を書き終わると、ピッタリ最後のマスにはまる。その時の達成感と爽快感を味わう。 |

(3) 新聞を取り入れた授業の実践に向けての研究

① 教科の授業で

どの教科のどの単元のどの場面でどのような新聞を活用すれば教育効果が高まるのかを研究する。「新聞をどう使えばよいか」という視点でなく、「ここで新聞を使えば効果的になる」という視点を大事にして研究を推進する。

② 総合的な学習の時間で

職場体験や福祉体験等、総合的な学習の時間で学んだことを新聞にまとめ、掲示したり発表したりする。新聞づくりを通して思考力や表現力を高める。



③ 道徳で

心情を耕すにふさわしい新聞記事、道徳的価値に気づくのに適当な新聞記事を発掘し、どのような授業展開をすればよいか研究する。

④ ICT教育と絡めて

デジタル記事の活用や iPad 等のデジタル機器の活用でN I Eの効果が高まることも十分考えられる。本校で進めるICT教育との関連も視野に入れて研究を進める。

